学校番号	T3015

令和８年度　情報科

教科	情報Ⅰ	科目	情報Ⅰ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「改訂版　情報Ⅰ　Next」（数研出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これからの情報社会で必須となる情報モラル、セキュリティなど日常生活に活用することのできる基本的な事から、デジタルデータの基礎を知り、情報を活用し社会を生き抜く力を身に付けてほしい。

2　学習の到達目標

１．情報通信技術が社会においてどのように活用され、それによりどのような問題が発生するかについて理解する。
２．身近にある情報通信技術を通してどのように発展してきたかについて理解する。
３．情報を活用する力を養い、自らの力で課題を解決する。
４．情報通信技術の在り方について自らの考えを持つために必要な，知識，能力，態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，端末を取り扱う技能を身に付けている。	情報を取り扱う際に、情報モラルやセキュリティなどにおいて様々な場面で法を遵守した判断を行い、導き出した考えを適切に表現している。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	情報社会と問題解決	・情報とメディア ・情報社会における法とセキュリティ ・情報技術が社会に及ぼす影響	a:情報がもつ意味や働き、種類を理解し、複数の情報から情報を検証する技能を身に付けている。 b:情報のもつ価値や信頼性および影響力、検証方法について考え、判断しその結果を表現できる。 c:情報が持つ意味や働き、形式に関心を持ち、積極的に学習しようとしている。	観察 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 プリント 定期テスト	観察 プリント 自己評価
	コミュニケーションと情報デザイン	・情報のデジタル表現 ・コミュニケーション手段の発展と特徴 ・情報デザイン	a:デジタル情報の利点や情報の表し方や単位、用いられ方を知識として身に付け、実際に進法の変換や情報の発信、検索が行える。 b:デジタル情報の脆弱性や拡散力、影響力を考慮し、適切な取り扱い方法を判断できる。また、音や画像、動画などを効果的に組み合わせ、他者へ表現することができる。 c:情報の活用方に関心をもち、コミュニケーション手段の発達やデジタルメディアの性質に注意しながら情報を発信しようとしている。	観察 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 プリント 定期テスト	観察 プリント 自己評価

後 期	コンピュータとプログラミング	・コンピュータのしくみ ・プログラミング	a:コンピュータの基本的な構成を理解し、基礎操作を行える技能を身に付けている。また、OS の必要性について理解している。 b: 用途に合わせた様々なアプリケーションが存在し、それらがプログラミングによるアルゴリズムで構成されていることを理解している。また、言語によって目的が同じであってもプログラム記述内容が変わることが理解している。 c:コンピュータや構成装置、OSやアプリケーション、それらを動かしているプログラミングについて関心を持っている。	観察 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 プリント 定期テスト	観察 プリント 自己評価
	情報通信ネットワークとデータの活用	・ネットワークのしくみ ・データベース ・データ分析	a:インターネット通信技術についての基礎的な用語の意味を理解している。また、データベースの存在を理解し、通信技術を用いて、データベースにアクセスし、データを得ることができる。またデータを作成するにあたって正しいデータ形式を用いて保存までの操作ができる。 b:どんな情報システムを用いれば適切な情報が手に入るか判断する事が出来る。またデータを作成するにあたって正しいデータ形式を判断し、扱いやすくデータを整理し表現することが出来る。 c:データそのものを取り扱うことに積極的である。また、データを取り扱う際に扱いやすく整理する事の重要性を理解し、他者と共有する事を前提にデータを取り扱えるか。	実技 観察 プリント 単元テスト 定期テスト	実技 観察 プリント 定期テスト	観察 プリント 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度